

# 翻訳



コロキウム

## 機械翻訳 と第二言語 ライティング

### 有益なツールか深刻な脅威か

2016年の秋、グーグルが無償で提供する機械翻訳サービスである Google Translate の性能が突然上がりました。機械翻訳による訳出はまだ人間による翻訳の水準には達していませんが、第二言語学習者が書く文章よりも正確で分かりやすい場合も少なくありません。大学生は宿題やレポートなどに既に機械翻訳を使っている場合もあると思われませんが、執筆プロセスや第二言語学習への影響、オリジナリティや剽窃の問題、まして第二言語教育の目的そのものについてはまだ十分には議論されていません。このコロキウムでは、機械翻訳技術の概要や学習者の機械翻訳利用に関する研究結果を示しながら、教育者は機械翻訳の進歩にどのように対応すべきかについて議論します。

場所

東京大学  
駒場キャンパス

日時

2017年9月16日  
14:30~17:30

主催

東京大学教養学部附属  
グローバルコミュニケ  
ーション研究センター

共催

東京大学教養学部英語  
部会、駒場言葉研究会

言語

日本語

詳細

[www.cgcs.c.  
u-tokyo.ac.jp/  
events.html](http://www.cgcs.c.u-tokyo.ac.jp/events.html)

**参加無料**  
**要事前申込**